

Innovation Times

SDGs 横浜の挑戦

Vol.15

企画・制作=神奈川新聞社 企画推進室



海の公園管理区域内の海中に生えるアマモ (横浜市提供)



横浜市は、金沢区の「海の公園」の公園管理区域内に生息するアマモが吸収するCO₂を、年間12・3トンのクレジット(約10万円分)として認証した。海洋生態系が吸収・固定するCO₂を「ブルーカーボン」として「海のCO₂貯蔵庫」としてアマモ場の存在を広げていく考えだ。

同市は2014年度から「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」を始めた。市独自の考え方で「ブルーカーボン」によるCO₂削減量をクレジット認証してきたものの、「ブルーカーボン」の実績はなかった。

市温暖化対策統括本部アロジエクト推進課によると、海の公園の公園管理区域内に生息するアマモの密生域は、7万7804平方メートル、東京ドーム約1・7個分に当たる。市では、アマモ場が持つ①CO₂を吸収し固定する②水質を改善する③生物多様性の増進に貢献する④効果に着目、調査を行ってきた。

独自の係数を用いて、CO₂吸収・固定量を算定してきたが、今回、IPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)により Tier1として

「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」を始めた。市独自の考え方で「ブルーカーボン」によるCO₂削減量をクレジット認証してきたものの、「ブルーカーボン」の実績はなかった。

市温暖化対策統括本部アロジエクト推進課によると、海の公園の公園管理区域内に生息するアマモの密生域は、7万7804平方メートル、東京ドーム約1・7個分に当たる。市では、アマモ場が持つ①CO₂を吸収し固定する②水質を改善する③生物多様性の増進に貢献する④効果に着目、調査を行ってきた。

海のCO₂貯蔵庫アマモ ブルーカーボン市が初めて認証

同社によると、個人顧客契約件数(いずれも3月時点)は17年約540件、18年約960件、19年約1980件と倍々ペースで増えている。個人顧客は、応援する発電所の電気だけを選んで使える

「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」を始めた。市独自の考え方で「ブルーカーボン」によるCO₂削減量をクレジット認証してきたものの、「ブルーカーボン」の実績はなかった。

市温暖化対策統括本部アロジエクト推進課によると、海の公園の公園管理区域内に生息するアマモの密生域は、7万7804平方メートル、東京ドーム約1・7個分に当たる。市では、アマモ場が持つ①CO₂を吸収し固定する②水質を改善する③生物多様性の増進に貢献する④効果に着目、調査を行ってきた。

独自の係数を用いて、CO₂吸収・固定量を算定してきたが、今回、IPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)により Tier1として

「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」を始めた。市独自の考え方で「ブルーカーボン」によるCO₂削減量をクレジット認証してきたものの、「ブルーカーボン」の実績はなかった。

市温暖化対策統括本部アロジエクト推進課によると、海の公園の公園管理区域内に生息するアマモの密生域は、7万7804平方メートル、東京ドーム約1・7個分に当たる。市では、アマモ場が持つ①CO₂を吸収し固定する②水質を改善する③生物多様性の増進に貢献する④効果に着目、調査を行ってきた。

お気に入りの発電所を選んで、みな電力(東京都世田谷区)の小売りサービス「顔の見えるでんき」。太陽光、風力、水力など全国約100カ所の発電所から、月ごとに購入先を選ぶことができ。同社は、ブロックチェーンを活用して「電力の産地」を証明できる独自技術を持っている。いわば「電力版トレーサビリティ」だ。

同社自体、再生可能エネルギーで発電したFIT電気を積極的に仕入れており、2019年度計画値で75%を占める。

同社によると、個人顧客契約件数(いずれも3月時点)は17年約540件、18年約960件、19年約1980件と倍々ペースで増えている。個人顧客は、応援する発電所の電気だけを選んで使える

「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」を始めた。市独自の考え方で「ブルーカーボン」によるCO₂削減量をクレジット認証してきたものの、「ブルーカーボン」の実績はなかった。

市温暖化対策統括本部アロジエクト推進課によると、海の公園の公園管理区域内に生息するアマモの密生域は、7万7804平方メートル、東京ドーム約1・7個分に当たる。市では、アマモ場が持つ①CO₂を吸収し固定する②水質を改善する③生物多様性の増進に貢献する④効果に着目、調査を行ってきた。

独自の係数を用いて、CO₂吸収・固定量を算定してきたが、今回、IPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)により Tier1として

「選べる発電所」高まる人気

電力の小売り全面自由化から3年半、個人が電力会社を選ぶのはごく普通になったが、さらに、発電所まで選べるメニューが登場し、注目を集めている。選ばれるのは再生可能エネルギー(再エネ)による発電所だ。反原発だけでなく、脱炭素や環境意識の高まりが背景にある。一方、太陽光発電を設置した家庭では11月以降順次、固定価格買取制度(FIT)の保証が切れ、新たな売り先を選ぶ動きも。社会の課題解決を念頭に、電気の買い手、売り手に大きな変化が表れそうだ。(春名 義弘)

お気に入りの発電所を選んで、みな電力(東京都世田谷区)の小売りサービス「顔の見えるでんき」。太陽光、風力、水力など全国約100カ所の発電所から、月ごとに購入先を選ぶことができ。同社は、ブロックチェーンを活用して「電力の産地」を証明できる独自技術を持っている。いわば「電力版トレーサビリティ」だ。

同社自体、再生可能エネルギーで発電したFIT電気を積極的に仕入れており、2019年度計画値で75%を占める。

同社によると、個人顧客契約件数(いずれも3月時点)は17年約540件、18年約960件、19年約1980件と倍々ペースで増えている。個人顧客は、応援する発電所の電気だけを選んで使える

「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」を始めた。市独自の考え方で「ブルーカーボン」によるCO₂削減量をクレジット認証してきたものの、「ブルーカーボン」の実績はなかった。

背景に脱炭素、環境意識



石井造園の屋根に敷かれた太陽光パネル

「選べる発電所」の契約が増えていることについて、みな電力ソリユーション営業部の利岡憲さんは「小売自由化から3年以上たち、電力にボジティブになってきたのが背景にあるのじゃない」と話している。脱炭素や環境意識の高まりが背景にある。一方、太陽光発電を設置した家庭では11月以降順次、固定価格買取制度(FIT)の保証が切れ、新たな売り先を選ぶ動きも。社会の課題解決を念頭に、電気の買い手、売り手に大きな変化が表れそうだ。(春名 義弘)

お気に入りの発電所を選んで、みな電力(東京都世田谷区)の小売りサービス「顔の見えるでんき」。太陽光、風力、水力など全国約100カ所の発電所から、月ごとに購入先を選ぶことができ。同社は、ブロックチェーンを活用して「電力の産地」を証明できる独自技術を持っている。いわば「電力版トレーサビリティ」だ。

同社自体、再生可能エネルギーで発電したFIT電気を積極的に仕入れており、2019年度計画値で75%を占める。

真のボーダーレスへ 20日開催 音楽祭「ホッチポッチ」

英語で「こちゃませ」を意味する「ホッチポッチ」。そんな名の横浜発のミュージックフェスティバルがある。国・世代・性別・障害の有無にかかわらず、誰もが気軽に音楽を楽しもうというイベントだ。11回目となる今年のテーマは「知るこから始めよう。真のこちゃませを目指して」。障害のある人たちに一人でも多く参加してほしいと、スタッフらは知恵を絞っている。

「車いすだと、キッチンカでの飲食物の受け渡しに不具合がある」「選曲の配慮は不要。心の隔たりを取り払えば、もっと楽しめるのでは」

実行委員会の中心として同イベントを支えるのが、認定

市はこれまで、「ブルーリソース」では、海水ヒートポンプ、LNG燃料タケボート、ハイブリッドタケボート導入やワカメの地産地消などで、164・4トンのカーボン・オフセットを実施している。(春名 義弘)

日本大通り駅で視覚障害者の疑似体験をするボランティアスタッフ

「しあわせの経済」考える 戸塚で国際フォーラム

「しあわせの経済」を考える 戸塚で国際フォーラム



「私たちを失望させる選択をすれば、あなたたちを決して許しません。国連気候行動サミットで、グレタ・トゥーンベリさん(16)はそう演説した。言葉の強さや表情なども密接に関係している。

《次回23日掲載予定》